

# 報道関係者と民博との懇談会 話題一覧

平成 25 年 6 月 13 日 (木) 15:30 ~ 16:30

※懇談会終了後、お時間のある方は引き続きご懇談ください。

## 1. 挨拶

— 須藤健一（館長）—

日本展示学会 第4期学会賞の受賞について  
教員の受賞について

[詳細はこちら](#)

[詳細はこちら](#)

## 2. ニュースリリース

— 八杉佳穂（広報企画会議議長）—

●みんなくの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

## 3. 企画展 武器をアートに—モザンビークにおける平和構築

[詳細は  
こちら](#)

アフリカのモザンビークでは、内戦終結後も大量に民間に残された武器を農具などと交換して武装解除を進め、その回収した武器でアートの作品を作り出すという事業が進んでいます。その事業を通じて制作された作品が、先ごろ本館に収められました。アートを通じて平和を築く営みを紹介します。



日時：2013年7月11日（木）～11月5日（火）

会場：国立民族学博物館 本館企画展示場 B

— 吉田憲司（文化資源研究センター・教授）—

## 4. 映画会／ワールドシネマ さあ帰ろう、ペダルをこいで

[詳細は  
こちら](#)

<家族のゆくえ>をキーワードに映画上映を展開していきます。今回は、ブルガリアほか合作「さあ帰ろう、ペダルをこいで」を上映します。共産党政権下から民主化へ、時代の波に翻弄され、引き裂かれたブルガリア人の祖父と孫の再会を通して、家族の在り方とその未来を皆さんとともに考えていきたいと思えます。

会場：国立民族学博物館 講堂

日時：2013年7月13日（土）13:30～16:30（開場13:00）

定員：450名

参加料：無料（本館展示をご覧になる方は観覧料が必要です。）

司会：川瀬慈（国立民族学博物館助教）

解説：ヨトヴァ・マリア（国立民族学博物館外来研究員）



— 鈴木紀（先端人類科学研究部・准教授）—

## 5. 博学連携教員研修ワークショップ

### 学校と博物館でつくる 国際理解教育 —センセイもつくる・あそぶ・おどる・たのしむ—

詳細は  
こちら

国立民族学博物館を活用した国際理解教育の実践事例の紹介やワークショップを通して、国際理解教育における博学連携の意義や可能性について考えます。

日時：2013年8月6日（火）10：20～17：00（受付10：00～）

場所：国立民族学博物館 講堂およびセミナー室（2階）、本館展示場  
一般公開（参加無料／要事前申込 [当日参加可]）

共催：日本国際理解教育学会



— 八杉佳穂（広報企画会議 議長） —

## 6. 遠足・校外学習 事前見学&ガイダンス

詳細は  
こちら

みんなくへの遠足をより充実したものに！遠足や校外学習など、博物館見学の準備や事前・事後の学習に役立つツールをご紹介します。

- ・施設及び新しくなった展示場のご案内・ご説明
- ・授業等で活用していただける学習キット・ワークシートのご紹介 など



日時：8月20日（火）／8月22日（木）／8月23日（金）

時間：14：00～17：00（受付は13：30～16：30の間、随時）

会場：国立民族学博物館 第5セミナー室（2階）

— 大西真一（広報企画室・室長） —

## 7. みんなく研究こぼれ話

### JICA研修員、東北被災地を訪ねる

JICA研修員の研修内容をわかりやすく説明します。

— 林勲男（文化資源研究センター・准教授） —



国立民族学博物館

懇談会についてのお問い合わせ

国立民族学博物館 広報企画室広報係

電話：06-6878-8560（直通）FAX：06-6875-0401 Mail：koho@idc.minpaku.ac.jp